

はつらつ
とことろ

心が一つになる音楽会を届けたい



▲山口さん（左から2番目）

「松井クラシックのつどい」代表
山口清さん（市内在住）

「松井クラシックのつどい」の仲間は家族のような存在。毎月第2土曜日の演奏会と、その翌週の打ち合わせで、月2回顔を合わせる。好きな音楽を語り合ったり、最近注目している音楽家を教え合ったり、会えば話が弾む。

memo

▲松井クラ
シックのつ
どい

カランカラン…開演10分前を知らせるのは、係が鳴らすハンドベルの音。「携帯電話の電源をお切りください」と手書きの看板が掲げられるなか、普段着の人々が挨拶を交わし、会場は和やかな雰囲気である。しかし、ひとたび演奏が始まれば、音楽を共有して聴衆と演奏者の心の距離が近づいていく。終演に向かうにつれ「もっと聴いてほしい」と「もっと聴きたい」の二つの気持ちがよりあって、聴衆と演奏者の心が一つになっていく。そんな音楽会を開催しているのは、「松井クラシックのつどい」だ。山口清さんはその代表を務めている。

1989年に松井公民館主催の音楽講座を発端として、1990年3月に「松井クラシックのつどい」が発足した。1990年4月に第1回演奏会が開催されて以降、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した時期もあったが、毎月1回演奏会を開催し、今年で35周年を迎えたボランティア団体である。

1992年1月の第20回演奏会を聴きにきた山口さんは、スタッフ募集を知り、運営に携わるようになった。「なにか特別な思いがあったわけではなくて、ただ、音楽が好きだったからやってみようと思っただけ」という。長きにわたる活動の秘訣を問うと、「皆が対等な立場で運営することや、公民館との信頼関係が大事。僕は代表兼ドア係です」とにこやかに語る。

音楽を愛する仲間14人と一緒に企画から運営、広報まで自分たちで行っている。「友の会」会費と演奏会チケットの販売収入のみでやりくりしており、財政的には厳しい。演奏者への謝礼も決して高額とは言いが、地域の人に低廉で良質な音楽を届けたいという信念がある。

一方で、演奏者には全力で寄りそうと決めている。照明も音響もプロの技術には及ばないが、最高の演奏を願う真摯なサポートが演奏者の心を打つ。演奏者には「今一番演奏したい曲をお願いします」と伝えているため、ときには知名度の低い楽曲が選ばれる場合もあるが、良い音楽は必ず聴衆に伝わるという確信がある。「いろいろなジャンルの音楽が好きで自宅でも聴くけれど、クラシックは音楽会で聴くほうが楽しい。やはり目の前で演奏を聴くと心が揺さぶられます」という。



保育付き演奏会、日本大学芸術学部とのミュージカル上演、県立芸術総合高校の授業の一環として位置付けられるなどさまざまな企画を形にしてきた。小・中学生は無料としてきたが、今年度は高校生まで拡大。若い世代にもクラシックに興味を持ってもらいたいという思いを強くしている。これまでの伝統に縛られない若い世代と一緒に音楽会を作るのが今後の目標。「長年やってきて、円熟した面もあるが、それに満足せず、これからも地域に音楽を届けていきたい」と語る。山口さんたちの活動はまだまだ続いていく。（取材：上地）

今月のプレゼントクイズ！

夏を思いっきり楽しもう！

狭山スキー場ウォーターフェス2025入場引換券

(1,900円相当×6組12人)



今年も、狭山スキー場のウォーターフェスが開催！屋根付きの屋内型施設なので、日差しを気にせず遊べます。スリルエリア、ひんやりエリア、ずぶぬれエリア、竜宮城エリアがあり、楽しみ方は色々♪大人からこどもまで1日中楽しめます。

●狭山スキー場
上山口2167
☎2922-1384
(午前10時～午後5時、最終受付4時)
開催期間 9月1日(月)まで
毎日営業／9月6日(土)～28日(日)は土・日・月曜営業



◆今月のクイズ

9・10・11面のクイズを解き、空欄に入る文字を順番につなげると？

◆応募方法（8月10日(日)締め切り）

①クイズの答え②郵便番号③住所④氏名⑤年齢⑥電話番号⑦8月号の感想を記入し、〒359-8501広報課（住所不要）に郵送・市HP（Qプレゼント）で応募

◎当選者の発表は、引換券の発送をもって代えさせていただきます。



▲市HP

読者感想文

●意外にも若い方々が民生委員をされていることに驚きました！具体的な活動内容も知ることができ、民生委員を身近に感じることができました（元町・50代）

●民生委員という、地域を支えてくださっている方がいることを知りました。いつか自分も地域のためになる活動を行いたいです（上新井・20代）

編集から●7月号特集は、民生委員の活動を紹介しました。安心して暮せるように地道な活動をしています。関心がある方はぜひ地域福祉センターへお問合せください

●家族でできるエコ生活はとて面白い活動だなと思いました。これか

らの夏本番に向けて、わが家も無理のない範囲で省エネ・節電に取り組んでいこうと思います（上新井・30代）

編集から●熱中症に気をつけながら、少しずつでも取り組みを続けていきたいですね

●所沢牛の記事がとても興味深かったです。大変な苦勞と研究を重ねていらっしゃるのですね。給食で所沢牛のビーフシチューが出たようで、おいしかったとこどもたちも喜んでいました。応援しています（山口・60代）

編集から●初めて所沢牛を知ったという感想も多くいただきました。機会があれば、ご賞味ください

編集後記

● 今月のところっこの山口さんは40代で松井クラシックのつどいに加わって30年余り。当時は音楽会の企画や運営の在り方について、夜遅くまで話し合うこともしばしばあったそう。懐かしそうに話す山口さんからは、仲間や聴衆、演奏者と音楽を分かち合う時間を大切にされていることが伝わってきました。松井クラシックのつどいが大切にされている音楽会にお出かけしてみませんか。きっと心に残る時間になるはず(上地)

● 食卓に並ぶ農産物の一つ一つに生産者の情熱やこだわりが詰まっています。本号の特集を読んで、スーパーなどで所沢産の物を購入する方が一人でも増えてくれると嬉しいです(深町)

● 「出掛けたいけどこの暑さじゃ…」という方は、誰でも利用できる所沢市クーリングシェルターをご利用ください。「家までもう少しだから…」と無理はせず、涼んでから帰りましょう(関)